

## 平成22年度事業計画（案）

### 1．基本方針

本協会は、昭和24年12月にウトナイ湖周辺の観光開発及び支笏洞爺国立公園の指定を契機に関係者有志により設立され、観光事業の一步を踏み出しました。

平成3年7月には事業拡充と組織強化を目指し公益法人として認可を受け、苫小牧市及び苫小牧商工会議所と協働のもと、本市の観光振興に努めて参りました。

この間、激動する時代背景とともに観光に対する国民の意識も変り、特に近年見られる激変する経済・社会環境並びに生活スタイルの変化による観光思想や志向は大きく変化しています。

こうした背景の中で、本市においては苫小牧港の開港とともに道内有数の産業都市として発展をつづける一方、昨今の厳しい経済状況における定住人口の硬直化は避けられず、交流人口を支える観光事業にあっては大変厳しいものがあり、本協会の果たす役割においても多くの期待を求められるものと捉えています。

本協会では、本市の観光を取巻く様々な背景を踏まえ、周辺市町村を含めた地域特性を認識し、深みのある街づくりを担い、苫小牧らしい観光事業の具体化とその実現に向けて、会員をはじめ市民の理解と協力を得ながら、関係機関、団体及び周辺地域との連携を図り、積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

また、法人制度改正をはじめとする本協会の運営においても厳しい環境は同様であり、効率的な維持・運営に努めることは基より、その根幹である会員のサービスにつながる、会員の事業情報の発信等についてもあわせて努めてまいりたいと考えています。

### 2．事業重点目標

スポーツ等各種コンベンション事業による誘客促進強化と支援

産業観光、体験観光の推進強化

広域圏域との連携による誘客促進

### 3. 事業実施計画

#### (1) 観光振興推進事業

地域観光としてのイベント開催を通し、市民の観光に対する理解と協力を深め、市民生活の中にある、地域素材・資源を新たな観光素材に結びつけ本市の観光振興を図る。

##### 『花と路でつながる街づくり』（観光振興特別事業）

苫小牧市の草の花である“ハナショウブ”の植栽を通し、日本一の『ハナショウブ園』を目指した名所作りに市民と共に参加し、市内の自然豊かな公園・施設を結び、新たな観光資源へと発展させ、東胆振及び日高路への観光ルートづくりに向け取組む。（継続事業）

##### “緑ヶ丘公園まつり”の開催

歴史ある“お祭り”の開催を通し、春の訪れを市民とともに楽しみ、あわせて「桜の開花情報」の発信により本市のPR推進を図る。

##### “たるまえサンフェスティバル”の開催

苫小牧の誇れる“秋の季節”と“ロケーション”を市民とともに楽しみ、東胆振は基より道内各地へのPR活動を通して誘客促進を図る。

##### 『港まつり』、『スケートまつり』への参画

“港まち苫小牧”と“氷都とまこまい”のさらなるイメージアップと本市観光の情報発信を行う。

##### レンタサイクル事業の拡充

“街はワイド”、“道はフラット”としてPRしているレンタサイクルを通して、利用者の利便性と観光イメージの促進を図る。

##### 自然・産業・アクセス

ウトナイ湖、樽前山を中心とした“自然”と共存する“産業都市”及び“交通拠点都市”としての素材を生かし、各種の観光施設との連携による事業拡大を図る。あわせて産業観光、体験観光の具体的事業推進に向けた研究。

## ( 2 ) 宣伝誘致推進事業

各種観光情報の収集及び調査に努め、市内外に向けた観光情報の迅速な提供を目指すとともに、“ 苫小牧らしさ ” を具体化した観光キャンペーン、観光セールスの実施、並びに関係団体による P R 活動へ積極的に参加し、宣伝誘致活動の推進を図る。

### 観光キャンペーン、観光セールスの強化推進

北海道内をはじめ、首都圏及びフェリー航路就航都市間での観光キャンペーンの実施とあわせ、関係機関、団体、事業所へのセールス活動を推進、強化する。

また、各地域における事業活動の調査・研究を行い、本協会における活動の充実に努める。

### プロモーション事業への参加

国内外からの誘客促進に向け、本市の物産・飲食・宿泊分野の連携強化を図り、国土交通省、北海道をはじめ、(社)北海道観光振興機構等の観光事業関係団体による各種プロモーション事業に参加し、広く本市の観光情報の発信及び P R 活動に努めていく。

### コンベンション事業の誘致推進

アクセス拠点都市としての立地条件を最大限に P R し、苫小牧市大会等誘致推進協議会との連携によるアイスホッケー・ゴルフ競技等をはじめとする各種のスポーツ大会や、文化・学術分野における大会・研究会等のコンベンションの誘致促進及び歓迎事業の充実・強化による交流人口の拡充を図る。

### 観光大使による事業推進

観光大使との交流を深め、協会事業の運営への提言、及び活躍する各分野において、観光大使として一役を担っていただく。

### 観光情報の提供

来苫する観光客はもとより、市民・観光関連事業者の要望に応える各種観光パンフレットの編集・発刊とあわせ、テレビ・新聞・雑誌等へ積極的な P R 活動を図る。また、ホームページ運営におけるアフィリエイト広告事業の研究・開発等自主運営の強化を図り、あわせて的確な情報発信に努める。

### 観光レポーター制度

本市における四季折々のデジタル写真や観光資源、観光情報等の提供を通して、本市の観光について、気軽に一般市民の参画を促し、あわせて寄せられた写真等はホームページなどを使い、観光情報として掲載する。

### ( 3 ) 組織の機能充実と基盤強化の推進

時代の変化による、法人組織の在り方等、日々変化する環境を的確に捉え、本市観光事業における本協会の果たす役割を認識し、本協会を取り巻く様々な環境に対応するため、組織機能の充実及び運営基盤の整備、並びに会員の連携・拡大を通じた組織強化を図る。

#### 会員の拡大と会員サービス事業

協会事業の運営を通して、会員相互の連携と情報交換の場を提供するとともに、観光事業の各種情報を会員に提供し、あわせて会員の諸活動に寄与する体制づくりの構築と、会員拡大に向けた魅力ある事業の拡充を目指していく。

#### 観光案内所事業の拡充

苫小牧市の受託事業として開設されている観光案内所は、苫小牧の顔として利用者のニーズに的確に応えるべく、利便性と的確な情報の提供に努めるとともに、本協会における事業活動の拠点として効率的な運営を目指していく。あわせて、本市における中心市街地活性化事業との連携を視野に入れ、その果たす役割を認識し、本市は基より東胆振圏域を含めた情報発信基地として機能の充実に努める。

#### 連携機能の強化

市内関係機関・団体との連携は基より、東胆振圏域の観光協会相互の連携及び、「北海道ご当地カレーエリアネットワーク」事業への参画を通じた広域的な連携を強化し、あわせて道内他都市での本市PR活動の充実を目指していく。

#### 将来に向けた協会事業の具体化と法人組織の確立

平成25年11月30日までに公益法人制度の改正による方向性を定め、諸手続きを行う必要があり、本協会では、本市の地域性、地理・自然環境、社会・経済環境等の背景を鑑み、将来を見据えた協会事業の運営とともに法人組織の確立に向け取り組む。

### ( 4 ) 北海道新幹線の早期実現と広域観光連携

北海道新幹線の早期実現にむけ更なる連携が求められている中、北海道道南地域における観光結節地点としての立地条件を活かし、本市の交流人口の増大に向け地域経済、文化の発展に寄与すべく、建設促進に向け観光関係諸団体と連携し、取り組んでいく。